

# 《発表資料》ローカルSDGs四国 分科会 SDGs事業促進検討分科会 活動内容報告

2022年7月7日



# 分科会設立の経緯

## 令和3年度/ESG地域金融促進事業

### 見えてきた課題

- SDGsに対する関心は高まっているものの、  
取組みには至っていない
- SDGsやカーボンニュートラルの問題意識から「行動」に  
結びつける点に苦労している
- 「どれくらい・何を」すればよいか定量的な示唆が必要
- 地域における中心的な評価機関が不在  
⇒ 現在は各金融機関の考え方にに基づき、  
事業者の取組を定性的に評価しているため、  
評価にばらつきがある



### 県内金融機関協働によるSDGs検討の場を設置

- LS四国/SDGs事業促進検討分科会を発足
- 令和3年度ESG金融促進事業の成果物

- 環境省の補助事業。愛媛銀行は2年連続の採択。
- 現状把握・課題整理を行い、SDGs・カーボンニュートラルが具体的に進捗しない要因を有識者と共有・協議。
- 地域金融機関による協働プラットフォームの構築を模索。

### 分科会の議論テーマ

- 県内の金融機関が協働し、定量的な評価基準  
づくりを協議することで、どの金融機関も同じ目線  
で事業者のSDGsの取組みを評価できないか。

### 分科会メンバー（立上げメンバー）

- 愛媛銀行 ※事務局
- 伊予銀行
- 三井住友信託銀行/松山支店

# 分科会設立の目的・期待される成果

## 目的

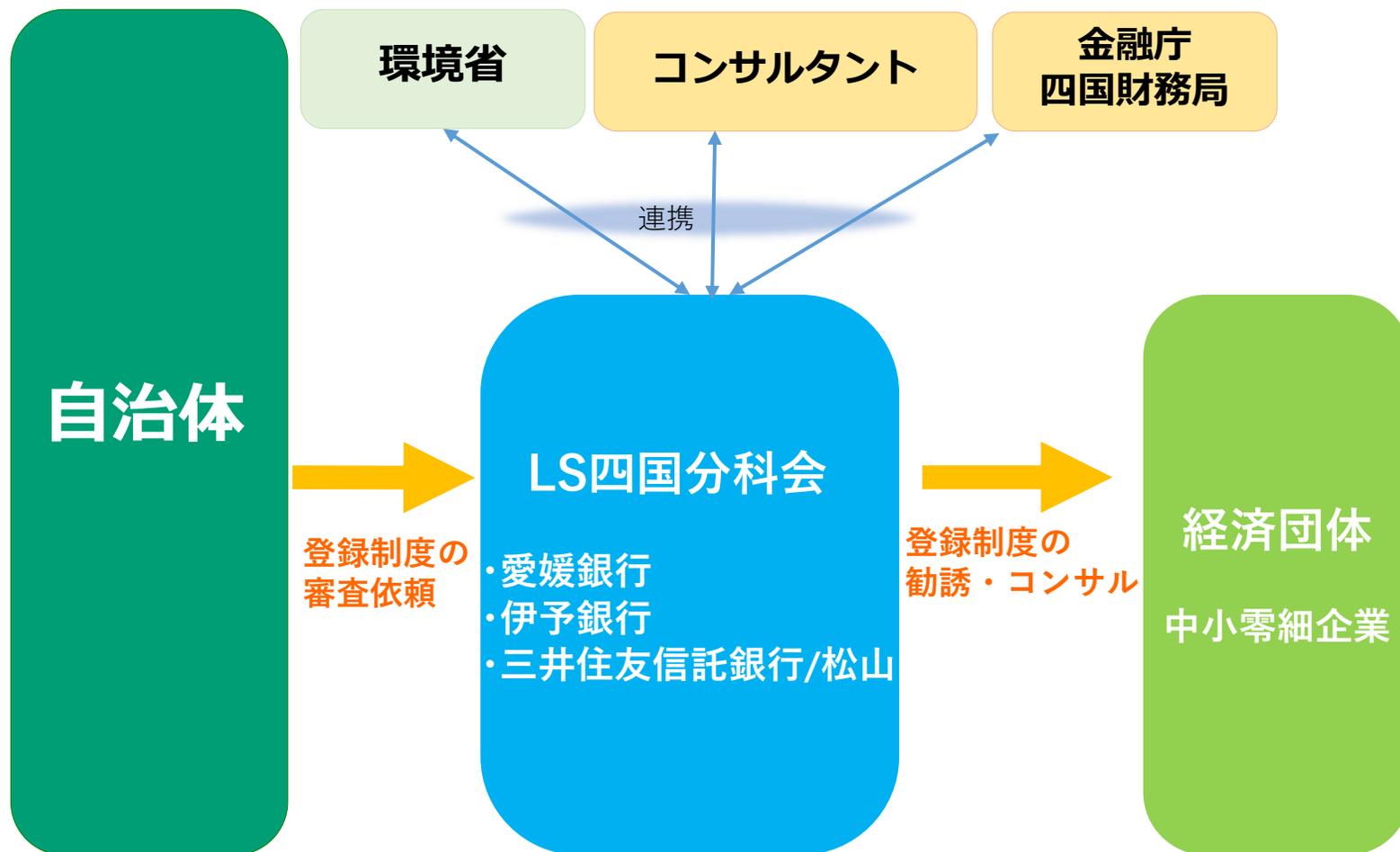
- 本分科会では、地元金融機関が協働し、**定量的な評価基準**の考え方を整理する
- 1つの事業者をどの金融機関が見ても同じ目線でSDGsへの取組みを評価できるスキームを検討する

## 期待される成果

1. 事業者が次にどのようなSDGs取組みに臨むべきか、具体的な対話につながる
2. 自治体等のSDGs登録認証制度における基準として準用できる可能性がある
3. 協働する地域金融機関が、地域におけるSDGs取組みを共有し、地域貢献につながる

# 3行連携による取組内容

## スキーム図



## 今後のスケジュール

